

令和7年京都八坂神社御田祭

月 日 令和7年5月25日(日) *雨天決行

時 間 午前10時～ (約1時間)

場 所 尾長野区内の京都八坂神社神饌田及び斎場
(京都府船井郡京丹波町下山下地100番地他)

内 容

- 【式典行事】 10時～ 斎場特設大テント内で神事
- 10時15分頃～ 神饌田で巫女舞、雅楽、早乙女8人による田植え
- 【奉納行事】 10時30分頃～ 祇園獅子舞奉納、祇園八坂神社ガールスカウトの舞い、
丹波八坂太鼓奉保存会奉納演奏
- 【式典行事】 10時45分頃～ 斎場特設大テント内に戻り神事
- 【式典終了後】 記念撮影(来賓、関係者、主催者等)

- 本年は、尾長野の地で開催されて55年。(当初の4年間は氏子数人で開催)
*尾長野区全体として「御田祭」取り組みを行ってからは51年。
- 雨天の場合は、「式典行事」のみで「奉納行事」は執り行なわれません。
- ドローン撮影は禁止。
- 撮影は、定められた場所をお願いします。(式典行事テントの裏手等を通行しないこと)
- 早乙女の田植えは、巫女の舞に合わせて行いますが、巫女の舞終了後、撮影用にしばらく田植を行います。

京都八坂神社御分社(ごぶんしゃ)にあたる尾長野八坂神社の「尾長野の地でお田植行事」が開催されて55年。「京都八坂神社御田祭」として開催されて51周年。

一昨年前からコロナ前の本来の形に戻る。(令和2年3年は関係者にのみによる神事と田長による田植えを行う。令和4年は神事と早乙女の手植えの式典行事のみ。奉納行事は無し)

京都八坂神社神職の雅楽生演奏で八坂神社巫女による豊栄舞(とよさかまい)の中、田長から早乙女に苗が渡され、早乙女8人による手植えが行われる。

稲は、7月の祇園祭の神幸祭、還幸祭の3基の神輿に取り付ける青稲として尾長野区から奉納される。また、12月には京都八坂神社本殿に取り付ける長さ3.5m×3本の大しめ縄他10数本が尾長野区総出で結い上げられ京都八坂神社に年末に奉納される。